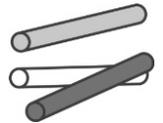


進路を考えるときに…「なんのために働くのか」

「日本でいちばん大切にしたい会社1」という本の中で紹介されている『日本理化学工業株式会社』は全社員86名の70%以上が知的障がいのある社員だそうです。5月にもテレビでこの会社のことが紹介されましたので観た人もいるでしょう。学校にはかかせないチョークとラーフル（黒板拭き）を作っている会社です。この会社が知的障がいのある少女二人を初めて採用したのは50年以上も前のことで、最初は一週間の就業体験だけの予定でした。しかし、その最終日に社員全員が「4月から正社員として採用してあげてください。できないことはみんなでカバーしますから」とお願いしに来たのです。社員みんなの心を動かすほど、二人は一生懸命仕事をしていたそうです。



それ以来、障がい者を少しずつ採用するようになったのですが、社長には一つだけ分からないことがありました。「会社で毎日働くよりも施設でゆっくりのんびり暮らしたほうが幸せではないか」と…。しかし、あるお坊さんにその疑問を尋ねると次のような答えが返ってきたのです。

「幸福とは、①人に愛されること、②人にほめられること、③人の役に立つこと、④人に必要とされることです。そのうち、②人にほめられること、③人の役に立つこと、そして④人に必要とされることは、施設では得られないでしょう。この三つの幸福は、働くことによって得られるのです。」「四つの幸せのなかの三つは、働くことを通じて実現できる幸せなんです。だから、どんな障がい者の方でも、働きたいという気持ちがあるんですよ。施設のなかでのんびり楽しく、自宅でのんびり楽しく、テレビだけ見るのが幸せではないんです。真の幸せは働くことなんです。」

社長は様々なことから、「人間にとって“生きる”とは、必要とされて働き、それによって自分で稼いで自立することなんだ」ということに気づいたそうです。それ以来、「そういう場を提供することこそ、会社にできることなのではないか。企業の存在価値であり社会的使命なのではないか」と思い、50年以上障がい者を雇用し続けることになったのです。

さて、みなさんはどうですか。「働きたい」という気持ちや、障がい者雇用を続ける会社の思いなどを考えながら、「自分は何のために働くのか、どんな働きをしたいのか」考え、自分の進路を決めてほしいと思います。

「内定率98%でも早期離職4割」（8月1日信濃毎日新聞）

高校生の就職についての記事が8月1日の信濃毎日新聞に載っていました。下の表は会社の求人状況をまとめてもらったものです。主に北信地域の求人数です。ここ数年、求人数が増えているのがわかります。人手不足もあり就職しやすくなっています。しかし、せっかく就職しても3年以内に離職してしまう人の割合が40%以上になっているのです。自分がやりたい仕事は？試験を受ける会社の仕事内容は？しっかり調べて試験に臨みましょう。

求人状況（長野・須坂・飯山・篠ノ井のハローワークほか）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
件数	580	487	447
求人数	1,753	1,501	1,313